

# 世界陸上競技選手権大会男子マラソン団体で銅メダルの清水将也さんと中貝市長が対談



▲銅メダルを中貝市長に見せて対談する清水さん

8月22日にドイツ・ベルリンで開催された世界陸上競技選手権大会男子マラソンに日本代表として出場し、団体で銅メダルを獲得した本市出身の清水将也さんが、8月30日に市役所を訪れ、中貝市長に喜びを報告しました。

清水さんは、ブランドenburg門を発着点とし、ベルリンの中心部を4周走る周回コースを走り、94人が出場する中、持ち前の粘り強さを見せ、全体で11位、日本人では2位(2時間14分6秒)の成績を収めました。また、団体(各国内上位3選手)では3位となり、銅メダルを獲得しました。

その清水さんと中貝市長が対談しました。

《問合せ》スポーツ振興課 ☎21-9023

## 頑張れば手が届く

**市長** 団体銅メダルおめでとうございます。豊岡も陸橋に横断幕を、市役所には懸垂幕を掛け、市ホームページでも「頑張って」と応援しました。

**清水** 拝見しました。とても励みになり、今回このような結果が残せて、本当によかったなと素直にうれしかったです。ありがとうございます。

**市長** でも、前の選手とぶつかって転倒されてからよく挽回されましたね。世界の舞台はどうでしたか。

**清水** すごい所だと思いました。やはり世界の選手との差を感じます。走力と精神力の両方です。勝ちたいと思う勝利への執着心が、私たち日本人選手とは、全然違うということを肌で感じました。けれど、頑張れば手が届くとも思いました。



▲ベルリンを走る清水さん

**市長** 入賞にもう少しでしたね。

**清水** そうですね。11位でしたが、やることはやったと思いますので、悔いはないです。私の中では、入賞と同じような感じですが、今の方向性が間違っていないということがしっかりと証明でき、今やることを続けていければ、もっと頑張れるのではないかと思います。

**市長** そういう感じが得られたことは大きな収穫でしたね。緊張されましたか。

**清水** 緊張と不安を消すために練習してきました。当日は、楽しく走ろうという気持ちだけで、いつも以上にリラックスしていました。

**市長** その辺のところはすごいですね。

**清水** 緊張といえば、この世界選手権の選考会の「びわ湖毎日マラソン大会」で、弟の智也と代表権を争ったときの方が、兄として弟には負け

## 楽しく走れました

**市長** 走りながらの風景は楽しいものでしたか。

**清水** マラソンの試走で、宗猛監督や1万メートルを走ったチームメイトの岩井勇輝選手と一緒に走り、こんなきれいな景色の中を走れて幸せだなと思います、そこでちょっと満足してしまいました。マラソンでは、1周目は、景色を楽しんで走っていましたが、2周、3周目は、前の選手と離れ、そういう余裕はなくなってきたので、ひたすら苦しく、地獄でした。4周目は、どんどん順位が上がりましたので、楽しくて楽しくての状態で走れましたが、最後は、やっぱり力尽きて何も抵抗する力が残

っていない状態でゴールしました。

**市長** 団体の銅メダルを獲得してどうですか。

**清水** 団体3位ということに對しては、満足できる結果です。行く前に団体のメダルに貢献できたら、メダルは家宝にしようと思っていたので、持ち帰ることができてよかったです。

**市長** 当日までの練習は大変でしたでしょうか。

**清水** 私が所属する会社では、1回のマラソンに出場するまでに約3千キロ走る練習をして試合に臨みます。基本は、本拠地の宮崎県延岡市で、仕事もしながら行います。今回



▲マラソンを走った日本代表の選手たちと清水さん(右)

は合宿などを入れながら、涼しい所で疲労をためないように行ってきました。

**市長** そんなに練習するので

**清水** 今だから言えますが、出場までに、いつも以上に気合が入って、頑張り過ぎてしまい、内臓疲労になったり、足が痛くなったりと体調を崩して、出場できないかもしれないという不安が2回ほどありました。怖くて怖くて。スタートラインに立てると決まっていたときは、とても調子の良い状態でよかったです。

**市長** 出場が決まったときからスタートまでが戦いですね。

### 豊岡から世界へ

**清水** 今日、あいさつ周りで、中学校時代の恩師に出会い、メダルを見せることができました。

**市長** それは先生もうれしかったでしょう。

**清水** 感謝の気持ちを形で示すことができてよかったです。豊岡の地形は、選手を育てる土壌がそろっています。円山川の河川敷もジョギングしたり、歩いたりでき、暑さ寒さ



### 清水 将也さん

正法寺出身。旭化成(株)所属。西脇工業高校で全国高校駅伝大会優勝。日本大学で箱根駅伝大会出場。ベルリン世界陸上競技選手権大会男子マラソン団体3位の銅メダルを獲得

も選手にとつては、とても良い環境だと思います。私も昔、坂道のある正法寺に住んでいましたので、毎日走り、坂道のある五荘小学校や豊岡北中学校に通っていましたので、脚力がついたと思います。

**市長** 次の目標は何ですか。

**清水** 2年後に韓国で開催される世界選手権での入賞です。その後、イギリス・ロンドンで開催されるオリンピックを目標して頑張ります。私の美学では、「できないことは口にしない」ということだったので、今後は、代表選手として、目標を言うことは義務であると思いますし、見られている中で頑張るといふことで、気の持ち方が変わると思っています。

**市長** マラソンに年齢は関係ありませんか。

**清水** 体力よりも経験が大事だと思います。今回は、その経験をしっかりと生かして走れました。回数が少ない選手ほど走れなかったと思います。その辺が面白いスポーツです。

**市長** 市内の子どもたちも身近な所から選手が出て、目標になりますね。

**清水** 今回、世界の入賞に手が届くというところまで来て、やはり、頑張ればかなうというか、できるといふことを子どもたちに伝えたいですね。やれば必ず結果に返ってくる競技ですので、それを信じてやってみてほしいです。

**市長** 清水さんがテレビなどで豊岡市出身と紹介されるとうれいすよ。

**清水** これからも、もつと豊岡市出身の清水兄弟を売り出していききたいと思えます。そ

れから、昨年9月、結婚しました。妻が豊岡でコウノトリを見て「赤ちゃんができたらいいいね」と話していたら、コウノトリさまさまですぐに授かり、12月に生まれる予定です。

**市長** それはよかったですね。今年もコウノトリのヒナが野外で9羽巣立って、市内に138羽いるうちの36羽が自由に空を飛んでいます。コウノトリのように大きく世界へ羽ばたいてください。

**清水** 今回は応援ありがとうございました。これからも目標に向かって頑張っていきたいので、引き続き応援をよろしくお願いします。



▲報告に訪れた清水さん(中央)と握手を交わす中貝市長(左)と石高教育長